

小金井市 江戸の糸あやつり人形調査

「江戸の糸あやつり人形」は、十数本の糸でたくみに人形を操作する日本独自の人形芝居です。江戸時代前期に江戸に創設された結城座を中心に、技術継承・改良を経て現代に伝承されています。

昭和31年に東京都無形文化財に指定、平成8年に国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されています。

現在結城座が所在する小金井市では、「江戸の糸あやつり人形」を保護し後世に伝えていく上で、その価値を精査し記録保存するために、令和8～10年度の期間にて学術的調査を行っています。



結城座公演『新版歌祭文 野崎村の段』／平成12年（2000）小金井市公会堂

調査は、**小金井市無形民俗文化財（江戸の糸あやつり人形）調査検討委員会**が実施しています。

ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先（調査検討委員会事務局）】

小金井市教育委員会 生涯学習課 文化財係

東京都小金井市前原町三丁目41番15号

電話：042-387-9879 Eメール：k020102@koganei-shi.jp